茶・ちゃ・チャ

発行 茶道裏千家淡交会新潟青年部 発行責任者

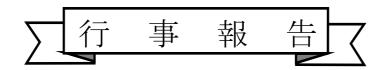
部長 阿部美栄子

新潟青年部として1月より活動をしてまいりました。9月の記念講演会は皆様のご協力により多くの方々にお出でいただき、無事に終えることができました。 ありがとうございました。

今までの青年部から新しい青年部としての活動が始まり一年目、基盤作りの年としてまいりました。まだまだ、途中ではありますが二年目に向け努力いたしますので今後ともよろしくお願いいたします。

広報誌第2号をお届けいたします。行事報告のみになりましたが、 来年度は、新しい情報をお届けできるようにいたします。

部長 阿部美栄子



上越越淡交茶会 4月21日(日)

会場:高田別院

上越委員会委員長 小嶋陽子

4月21日(日)に上越淡交茶会が催されました。会場は上越市高田別院。車で少し行くと、日本三大夜桜で有名な高田城があります。(残念ながら、この時期にはもう桜は散ってしまい、お堀に花筏が浮かんでいました。)

青年部が新しい体制になって初めてのお茶会です。「新しい出発」を頭にうかべ、 お道具を選びました。床にはお家元の「絆の力」のお軸をかけさせていただきまし た。また、茶杓は鵬雲斎大宗匠の「古今の友」を使わせていただきました。

準備がスロースタートだったせいもあり、当日まで慌しいものになってしまいましたが、旧とき、あさひ青年部の皆さんと一緒になんとかやり遂げることができました。

終わってみると、あれは良く なかった、これをしておけば、 と反省ばかりが目だってしまいま す。これからのお席にこの反省を うまく活かしていかなければと思っ ています。

反省も多かったですが、皆で 力を合わせてお席をかけることが できたのはとても嬉しい事でした。 「絆の力」を大切に、これからも みんなで学んでいけたらと思います。

(茶会終了後、皆で記念撮影)

奏風茶会 5月28日(日)

会場:遊神亭

田中宗睦社中 島田裕介

一生懸命さは伝わる - 奏風茶会に参加して -

交流委員会のメンバーとして、奏風茶会に参加させていただきました。

奏風茶会はいかがでしたでしょうか?楽しんでいただけましたでしょうか?

なかなか時間が作れない中、委員会のメンバーは何度も集まり、準備作業を行いました。今回は、同じ日に行われた音楽イベント「ラ・フォル・ジュルネ新潟」に合わせて、お道具やお席のしつらえ、お菓子等、音楽をテーマに考えたのですが、音楽というのが逆に縛りになってしまったのか、なかなか良いアイディアが出なかったり、一度決まったお道具がキャンセルになって再考したり、私が担当したお菓子では、試作でそれこそ良い物が出来なかったり(これは私のアイディアが良くなかったのが一番の原因なのですが)、短い準備期間であったのですが、色々なことがあった気がします。

でも皆一生懸命でした。良いお茶会にしたい、その想いは皆、同じでした。最終的にはお道具、しつらえも決まり、譜面の色紙を書いていただいたり、貴重なバイオリンの弦を貸していただいたり、青年部以外の方の協力もいただきました。

(音楽祭に合わせ、楽譜でお迎え)



渡邉宗京社中 磯部寛子

まるでモーツァルトの楽曲のような軽やかな風がふく4月28 日、遊神亭にて奏風茶会が行われました。

当日は天候にも恵まれ、私たちが遊神亭でる調べが聞こたのでしょうか、ラ・フォルネの講演に行かしただきましいただきました。といる園をお散歩中の方にもあわせて、からないまではいるではないないではなる。私は受付でお客様の様子をういたなったいたが、お帰りの際には皆様笑顔で、楽しかったよいないます。

奏風茶会の後、ラ・フォル・ジュルネの新潟最後の公園をりゅーとのあへ聴きに行ったのですが、そこで偶然、お茶会に来てくださった方にも何名かお会いしました。音楽も、その日、その場所で、一緒にいる 人達と聴くことができるのは一度きりと、寿風茶会に来てくださった方達と共に、を謝の気持ちでいっぱいになりました。

私達青年部の心と、来てくださったお客様の心が響きあい、ひとつの音楽を奏でた、そう感じることのできた1日でした。



(趣向に合わせ、手前も軽やかに)

新入会員歓迎茶会 6月30日(日)

会場:中村宗元先生宅

総括幹事 小林一彦

今年は29名の方に入会をしていただき、その内17名の方が歓迎茶会に出席されました。

点心は、淡交テキストなどを参考に会員で献立を考え、自宅で作って持ち寄りました。それぞれに苦労があったようですが、喜んで頂けたようです。

濃茶は、21人という大人数にもかかわらず、社中での稽古や青年部 活動の成果か、厳かに行うことができたと思います。

薄茶は、野点で行いました。梅雨の合間で心配された天気は、夏を思わせる晴天で、昼過ぎの一番暑い時間帯にあたっため、急遽よしずの屋根を掛ける作業をギリギリまで行いました。お客様の事を第一に考えるおもてなしの大切さを実感し、また実践できたのではないかと思っております。交流会では、新入会員は緊張の表情でこちらの説明を聞いていました。

これから一緒に楽しく活動していきたいと思います。



(点心、よくできました。自画自賛)

(この目のために)

(多くの新入会員をお迎えして)

チャリティー茶会 7月7日(日)

会場:新潟(丹庵) 上越(雁木通りプラザ)

支部行事であるチャリティー茶会、今年は新潟と上越ともに青年部席は7日の 担当となりました。それぞれの、会場で同じテーマにて行いました。

田中宗睦社中 石崎聡

7月7日の日曜日、丹庵で行われた平成25年度チャリティー茶会に参加した。

テーマは「水」で「涼をさそう水。なくてはならない水。ただ近年 の地震のように災害ももたらす水。私たちは水(=自然)への畏怖を 忘れずにいたい。」という趣旨。

手前の2名と亭主1名はもうすぐ卒業間近の担当ということで青年部とは名ばかりの気もするが、一緒に茶席を作った若い皆さんの支えがあり無事におもてなしができたのでは。

前日に先生から教わった葉蓋点前に精一杯で席の様子に気持ちを向ける余裕はなかったがなんとなくお客様と亭主の様子からは和やかな雰囲気。

後から聞いた感想の中に「涼を感じさせる席で楽しかった。」と暖かいお言葉もあり、打ち合わせ、準備、当日と以心伝心チームワークで力を持ち寄った青年部仲間と、お越しいただいたお客様に感謝でいっぱい。

ありがとうございました。

懷石勉強会 7月28日(日)

会場:燕喜館

当日は22名の参加者でした。

(懐石道具の真行草、使い分けがありました)

新体制移行記念講演会 9月8日(日)

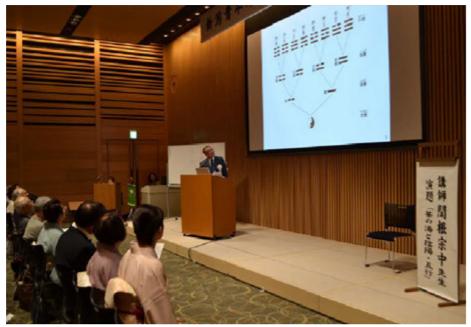
会場:メディアシップ

部長 阿部美栄子

三青年部が一つになり初めての大きな行事となりました。それまでのやり方や距離の問題でまとまることができるのか不安な点はありましたが、お互いの意見を聞き、譲り合いながら準備をすすめるうちに会員同士の距離が近くなったと思います。 講演会は、当初見込んでいたよりも多くの方にご出席いただきました。

講師の関根先生には、茶の湯はもちろん全てのことが陰陽五行で成り立っていることをわかりやすくお話をしていただきました。

今回使用した会場は、4月にオープンしたばかりの施設であり、青年部が今までに使用したことのない会場でした。使い勝手がわからなく不安な点はありましたが、今までにやってきた合同行事の経験がありましたので、当日も皆が手際よく動くことができました。皆様のご協力に感謝致します。



(関根先生の御講演)

(呈茶席)

(新潟青年部、今年最大の行事でした)





北陸信越ブロック会員大会 9月28・29日(十・日)

会場:富山市

毎年行われているブロック会員大会が今年は富山青年部主管にて行 われました。新潟青年部からは15名の参加者でした。

今回の大会は、今までにない企画が二つありました。 一つは「茶の湯あるある川柳」。お茶・青年部のことについて川柳 を一句投稿するというものでした。大会当日参加者全員の川柳が発表 されましたが、同じ青年部の仲間・お茶をやっていることについて共

感できる楽しい句がたくさんありました。 もう一つの企画は「あなたの身近な写真こんてすと」。こちらも参 加者全員の作品が寄せられていました。

その他、茶会・散策・懇親会と盛りだくさんのおもてなしを受け楽 しい二日間を過ごしてまいりました。この楽しい様子はネット上でど なたでもご覧になれます。 (閲覧可能は26年1月末日まで)

http://photoget.jp/sys/PhotoRoom/PhotoRoom.aspx?rid=FBFJJJNN

ぜひ、ご覧下さい。そして、来年行われる長野での会員大会にご一 緒しましょう。



(エクスカーション出発前)



(新潟青年部からの研修チーム出向者二人も お手伝い頑張っていました。右から二人)

新潟市民茶会 10月6日(日) 会場:新潟市芸術文化会館 和室

当日の趣向は名残。 花は「茄子」、お席に 入られたから興味深く ご覧いただきました。 また、当日は来賓として 新潟市長にお入りいただき ました。

(左:ご来賓 右:茄子の花)





幼稚園茶道体験教室 11月16日(土)

会場:いずみ幼稚園

渡邉宗京社中 高橋律子

幼稚園茶道体験教室に参加して

11月16日(土) 五泉いずみ幼稚園にて「幼稚園茶道体験教室」を行いました。この行事はあさひ青年部の委員会行事でしたが、三青年部が合同になった後も続けたいという思いと、いずみ幼稚園の年間行事の中に組み込まれていたということもあり、計画しました。 参加人数は先生5名、幼稚園児23名、小学生8名、保護者6名、

参加人数は先生5名、幼稚園児23名、小学生8名、保護者6名、合計42名でした。

最初は園長先生に正客をお願いし、盆略点前をしてその様子を子供たちに見てもらいました。年少さんはお点前を見ながらお菓子とお茶をいただき、年中さん以上の子供たちは学年毎に二つのグループに別れ、お茶を点てる体験とお菓子とお茶をいただくお稽古をしました。

初めて体験する子供たちも多く、とても興味深そうに見ていましたし、小さな手でがんばって茶筅を振っている様子や、苦いといいながらお茶を飲んでいる姿は、とてもかわいらしく感じました。

今後もこうした体験を通じ裏千家の茶道がより身近なものになっていくように私達もも努力したいと思います。



(真剣に。 うまく点てられました)



(苦くなかったよ)

四つの作り物講座(古帛紗・お菓子・作陶・ピザ)

会員の皆さんが、気楽に参加しやすいように楽しい体験講座を開催 致しました。毎回、参加者がワイワイとおしゃべりをしながら物作 りを行いました。

古帛紗作り:10月13日(日)





(上手にできました。お披露目はいずれ)

和菓子作り:11月17日(日) 会場:ユニゾンプラザ

中村宗元社中:中村麻美

お菓子の講習会に参加してきました。作ったお菓子は3種類で「薯 蕷饅頭」「浮島」「洲浜」でした。

当日は二つのグループに分かれて先生のご指導を受けながら製作を開始。浮島から作り始めました。和風カステラのようなもので餡子と 粉、卵白を混ぜ合わせて蒸すのですが、膨らまなかったらどうしよう かと心配でした。

それを蒸している間に洲浜の製作。こちらは粘土細工のようなもの で、色を混ぜたり方で抜いたりと楽しかったです。

洲浜製作が終わる頃、浮島の完成。しっかり膨らんでいてホットし ました。

最後は薯蕷饅頭を作り終え、お楽しみの試食会。形はよくなくても

自分で作ったお菓子は愛しいものです。 普段、食べることには慣れていて、すっかり評論家になっていますが、いざ、自分で作るとなると大変。先生のレシピ通りに作ったので味はそれなりに美味しくできましたが、外観は悲しく和菓子職人さん はすごいなあと感心しました。

いつか美味しい美味しいお菓子を作ってお客様をお招きしたいもの です。このお菓子、私がつくりましたの・・・・なんていいながら。 私は今年で青年部を卒業ですが、また卒業生も参加できるお菓子講 座を企画して下さい。ご準備も大変だったと思います。先生、スタッ フの皆さん、ありがとうございました。楽しく、またよい思い出にな りました。



(餡を生地でくるみ)



(できあがり。左から洲浜・浮島・ 薯蕷饅頭)

作陶:12月8日(日) 会場:木村隆先生工房___

上越委員会委員長 小嶋陽子

12月8日、上越の五智窯木村隆先生の工房で陶芸教室が開かれまし

た。 一今回はお茶会に使えるものを作りたいと思い、先生にもご相談して、

先生が用意していて下さった○△□の形の土の中からくじでそれぞれ の形を決め、その形からあれこれイメージをふくらませていきます。 私はなかなか形が決まらず、どんどん形が変わっていってしまいまし た。あまりに構いすぎて、手の熱で土が乾いて、ひびだらけになってし まいました。

春位まで乾燥させ、それから釉薬をかけて、窯にはいるそうです。完成にはもう少し時間がかかりますが、出来上がりが楽しみです。 また、先生のお宅でお昼にきのこ汁をいただいたり、お薄と一緒にい

ただいた、手作りのりんごチップスも大変美味しくて感激しました。とても和やかで楽しい時間を過ごす事がでしました。 完成した作品をお茶会で使うのが、今から楽しみです。



(割れませんように)



(薄茶一服に、ほっ)

ピザ作り:12月23日(日) 会場:フジタファーム

佐伯宗栄社中 渡辺木綿子

12月23日岩室のフジタファームさんでピザとジェラート作りの体験に参加してきました。 ピザは芸術性、ジェラートは腕力を試されましたが自家製チーズと生クリームのおかげで大変美味に仕上がりました! その後、場所を移してランチを楽しみながら今年一年を振りでもました。今年最後の行事は私にとって青年部最後の行事さありました。 思い出深い行事となりました、ありがとうございました。



(チーズ・トマト・オニオン・バジルをトッピング、 おいしくいただきました)



(ジェラートもつくりました)

新入会員紹介

平成25年度、青年部へ入会をされにアンンケートにてお答えを頂いておりますのでご紹介いたします

質問 下記3つの中から、いずれかにお答えいただきました。

①お茶をはじめたきっかけ

②お茶をやっていて思い出に残るエピソード

③お茶をやっていて楽しい、良かったなと思う時

(社中・アイウエオ順)

社中名:有澤宗香社中

氏 名:玄蕃葉子

①日本人なのに日本の文化を理解していない自分に気づいたことが、 茶道を始めたきっかけでした。これからも美味しいお茶とお菓子を 楽しみながら、長く続けていきたいと思っています。どうぞよろし くお願いします。

社中名:有澤宗香社中

氏 名:小坂恵美

②カナダ留学時代にホストファミリーや友人にお茶をたててあげたことです。茶箱以外はキッチンにあるものでの即席でしたが、とても喜んでもらえて、記憶に残っています。日本を代表する文化として、少しずつ磨いていきたいと思っています。

社中名:石川宗嗣社中

氏 名:山子文孝

③釜の音

焼き物のぬくもり

菓子の味わい

香の匂い

目視による認識

心や気までも感じ取り、抹茶を身体に流し込む。美味しい。

楽しい。頂です。

一座建立は、人と出会えて良かったと思わせてくれます。多分に。 私にも。 社中名:中村宗元社中 氏 名:高加茂陽子

①学生時代、誘われて少し茶道を習いに通ったことがあり、濃茶のおいしさに驚いたのが、興味をもったきっかけです。実家に戻ってからも、機会があればもう一度習いたいと思っておりましたが、偶然お隣に中村先生ご夫妻が越していらっしゃったので、入門をお願いし、今に至ります。

社中名:團原宗蒲社中(新潟医療福祉大学)

氏 名:岡田真紀

①私がお茶を始めたのは高校に入学した時でした。仲の良かった友達が茶道部に見学に行くのを一緒について行ったことがきっかけで茶道部に入部することになりました。今では先生や先輩後輩、友達との大切な繋がりが出来たのは茶道のおかげだと思います。

社中名:團原宗蒲社中(新潟医療福祉大学)

氏 名 田邊風花

①私が、茶道をしていせに残っていることは、大学祭でのお茶会です。 茶道部員全員が協力し、会場の準備をしたり、お菓子を 茶道部したり、大学祭の当日にたる方々に喜んで 手作りたかられない良い思い出となっています。 たことがられるの出会いや思い出もひとつ大切に していきたいと思っています。

社中名: 冨澤宗典社中

氏 名:平間彩子

①高校の文化祭で、茶道部のお茶席でお抹茶とお菓子 を頂いてから、いつかは習ってみたいと思っていま した。それから何年後、勤労青少年ホームのお茶の 教室に参加し、その教室で出会った冨澤先生のお宅 に通わせていただいています。



新 潟 青 年 部 総 会 2 月 1 1 日 (祝) 北 陸 信 越 ブ ロ ッ ク 会 員 大 会 (長 野) 1 0 月 1 2 ・ 1 3 日 (日 ・ 月)

その他、各委員会にて行事を計画しております。